

一般社団法人クロスオーバーラボ 設立趣旨書

2011年3月11日2時46分、東日本大震災が起きました。

2015年3月の今でも、多くの人が地震や津波、原発事故の影響によりとても厳しい状況に置かれています。

しかしながら、未曾有の災害が炙りだした日本の姿は、
そもそも今の日本が抱えていた問題の実態をはっきりとさせただけかもしれません。
日本の各地では過疎高齢化が進み、行政の運営はますます厳しくなっています。

様々な分野で課題が生まれ、それらは複雑にからみあい、解決は困難な状況になっています。

特定の分野や担い手、地域だけで解決できるでしょうか。

災害・防災、子育て、就学、健康、高齢化、貧困、環境、まちづくりなど、ひとりひとりの課題も様々です。
これまでの制度やアプローチだけでは解決できません。

これまで社会課題の解決のために市民セクターの様々な主役が取り組んできました。

課題をダイレクトに感じ、受け止め、解決に取り組んできた市民、ボランティア、NPO、企業などは
これからますます重要な役割を果たすと確信しています。

わたしたちのパートナーは「市民セクター」です。

社会課題の解決に、決まったアプローチは存在しません。

地域、分野、担い手を重ねあわせる「クロスオーバー」が解決の糸口となります。

地域、分野を越えて、様々な担い手による合意形成のプロセスを描き、
主体的、自律的、有機的に様々な人が様々な方向から働きかけるしくみが求められます。

わたしたちは、中立的な立場から、パートナーや様々な担い手とともに複雑に絡み合う課題の解決に向けて、
4つの活動を軸に、新たなしくみづくりに貢献します。

- 1) 市民とともに制度や活動の実態を的確に把握する（社会調査）
- 2) 社会課題を中心に置き、地域、分野を越えて、様々な担い手が課題解決を話しあう（場づくり）
- 3) 社会課題に関わる人たち・組織のスキルアップを促す（人材育成）
- 4) 新たなしくみをつくりだすために、多様な参加とともに試行する（社会実験）

これらの事業を通じて、パートナーの描く社会の実現に寄与します。